

# ロゼ

文化情報誌 ロゼ  
ROSÉ THEATRE  
ART INFORMATION OF FUJI CITY  
CULTURE MAGAZINE ROSÉ

VOL. 39 2002



# ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 2002年5月発行(第39号)  
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0953 富士市蓼原町1750番地 TEL(0545)60-2510代  
企画・編集・製作 (財)富士市文化振興財团事業課企画広報係 アドスペース エーピック株式会社

# 2002 LINE UP

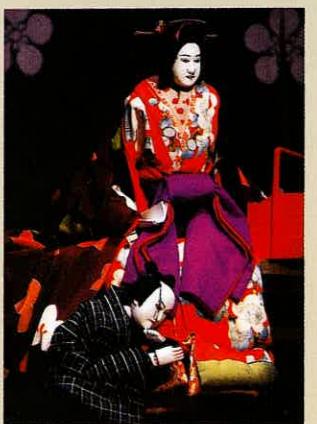
平成14年度

## ビック事業の数々



PHOTO: Koichi MIURA

新緑の季節と共に今年も新年度事業が  
指揮・大町陽一郎、ピアノ・仲道祐子による  
東京フィルハーモニー交響楽団(四月十  
三日)を皮切りにスタートしました。



また、岸田今日子、吉行和子、富士真奈  
美の、テレビでもお馴染みのベテラン女優三  
人による、お客様を交えてのトークショー、  
女優三人みだれ咲き(四月二十日)も大  
盛況。

大人気のサンリオキャラクター・ハローキ  
ティたちが勢揃いしたサンリオ・ファミリ  
ーミュージカル(五月三日)。子供から大  
人まで楽しめるファミリー・コンサートです。



ティ・イベントとして富士  
市から新たなスター

ラバス(五月十八日)も必見です。

そして、鬼太鼓座・マラソンライブツア  
ー(五月十九日)。鬼  
太鼓座創始者・田耕  
氏(富士市宮島)の追  
悼イベントとして富士  
市から新たなスター

コントラバス軍団として、驚きのパフォーマン  
スを繰り広げるオルケストラ・ド・コント  
ーロッパ、  
全米を興  
奮の渦に  
巻き込んで驚異の  
技派ピアニスト「ケマル・ゲキチ・ピア  
ノリサイタル」(六月二十八日)も見逃せ  
ません。



強烈な個性の持ち  
主と呼ばれ、エキセントリックできわめてド  
ラマスティックな表現に特色があるカリスマ  
的技巧派ピアニスト「ケマル・ゲキチ・ピア  
ノリサイタル」(六月二十八日)も見逃せ  
ません。

市村正親と勝村政信の人気男優コンビが、  
なんと老若男女十五役を演じ分けるとい  
う舞台「ストーンズ・サート(五月二十六日)  
」が登場します。

月十六日)が登場し  
ます。

月十六日)が登場し  
ます。

月十六日)が登場し  
ます。

月十六日)が登場し  
ます。

月十六日)が登場し  
ます。

トをさります。

早いもので今年十二年目を迎える新人音  
楽家の演奏会2002 MAYコン

サート(五月二十六日)が開催されます。

トをさります。

の一生と重ね、死と向き合う。島田歌穂主  
演のミュージカル「葉っぱのフレディ」(八月二十一  
日)はこの夏一番の感動のステージ。ぜひご家  
族でご覧ください。



月十六日)が登場し  
ます。



伝統芸能のファンの方には文樂公演「曾  
根崎心中(他)」(十月十九日)が見逃せま  
せん。人間国宝 吉田文雀が操る人形、そ  
して日本の伝統芸能の素晴らしいを堪  
能下さい。

お待たせいたしました。豪華絢爛とはま  
根崎心中(他)」(十月十九日)が見逃せま  
せん。人間国宝 吉田文雀が操る人形、そ  
して日本の伝統芸能の素晴らしいを堪  
能下さい。

伝統芸能のファンの方には文樂公演「曾  
根崎心中(他)」(十月十九日)が見逃せま  
せん。人間国宝 吉田文雀が操る人形、そ  
して日本の伝統芸能の素晴らしいを堪  
能下さい。

年が変わり、二〇〇三年最初のプログラ  
ムは、おじさんたちの青春が甦る「フォーク  
グラフティー」(二月三十日・二月二十八日・  
三月二十八日)を三回シリーズでお送りい  
たします。

また、新春にふさ  
わしい毎年恒例と  
なりましたふじ寄  
席(二月一日)。今  
年は三遊亭楽太郎他の出演で、大いに笑つ  
ていただきます。

そして、ロゼシアター開館十周年記念ブ  
レイブントとして世界中が注目したマエス  
トロ・オザワがロゼのステージに立つ。新日本  
フィルハーモニー交響楽団・指揮小澤征  
爾(二月十八日)はベートーヴェンピアノ協  
奏曲第一番と交響曲第三番「英雄」という  
クラシックファンならずとも最高のビッグイ  
ベント。今から公演が本当に楽しみです。

内藤開喜プロデュースによるマンドリン  
コンサート(三月一日)はマンドリンという  
小さな楽器に秘められた大きな魅力を発  
見できるでしょう。

このほかにも新進アーティスト作品展(十  
二月二十日・二十五日)など様々な自主  
公演で皆様のご来場をお待ちしております。



## 狂言の現在2002 野村万作・野村萬斎

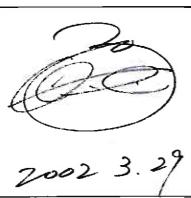


3/14 木  
野村萬斎

●最初のレクチャー・トークが現代向きでわかりやすかった。「棒縛」は歌舞伎で観たことあるけど狂言では初めてだった。動きが一回一回静止するので、口しか動いてないところも人形みたいだった。何もないのに風景が浮かんできた。(中学生 女性) ●「佐渡孤」ものすごく面白かったです。どちらのお百姓も面白かったです。(20歳代 女性) ●もっと堅苦しいものかと思っていたが、次回は子供にも観せたいと思います。楽しかったです!(30歳代 女性)

## 中西圭三アコースティックコンサート



3/29 金  
  
2002.3.29

## 「新東海道道しるべ人形展」

12/16 日～25 火



## 和楽器の浪漫PartⅡ 太鼓・尺八・篠笛他

3/3 日～10 日



●三味線の作り方は複雑だなあとと思いました。私も和楽器をひいて(吹いて)みたいですね。(10歳代 女性) ●静かでゆっくりと観させていただき満足しました。三味線や琴の製作状況をテレビで拝見できて良かった。(70歳代 女性) ●日本の楽器のすばらしさがわかりました。初めて細かい手作りのところまで見ました。(50歳代 女性) ●楽器の材料と部品の多さに驚きました。(70歳代 男性)

## ウィーン交響楽団ヨハン・シュトラウスアンサンブル

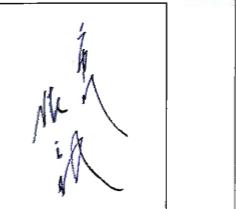


1/12 土  


●ヨハンシュトラウスを聴きたいと希望していたので、念願かないうれしかった。素晴らしい演奏に魅了されました。(50歳代 女性) ●ヨハネス・ヴィルトナー(指揮・バイオリン)の美しいおしゃべりと大家族のような12名のアンサンブルが奏でるフルオケを聴き、もう一度お正月気分を味わえました。(40歳代 女性) ●新春のウィーンを旅行した気分で楽しかったです。(30歳代 女性)

## 市川猿之助歌舞伎公演



11/9 金  


●とても迫力があり、楽しかった。人物の細かい表情の変化など、1列目では、とてもよく見え、お話を引き込まれるようでした。セリフは朗々しているのに、スピード感があるように感じました。勢獅子(きおいじ)がとてもコミカルで、動きも楽しそうも大満足でした。(20歳代 女性) ●猿之助のすばらしい演技に感激!女形のしなやかなぶり、女になり切れる姿にも感激(60歳代 女性)

## フレッシュアーティストコンサート 藤井香織(f1)・吉田恭子(vn)・藤井裕子(pf)

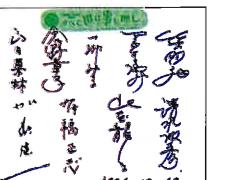


10/2 火  


●初めてクラシックコンサートを聴いたが、生演奏はやはり違うなと思った。三重奏がいちばん聞きたががあった。(20歳代 女性) ●大変良かったと思います。今日のようなフレッシュアーティストを招いての公演を数多く企画していただきたい。(60歳代 男性)

## 加藤健一事務所「すべて世は事も無し」



10/17 水  


●加藤健一事務所というと、テンポとタイミングのコメディというイメージが強かったですが、今回は脚本 자체がコメディーではなかったので、どういう風になるのだろうと思いましたが、相変わらずお笑いもあり、感動もありとても良かった。(20歳代 女性) ●昨年も大変おもしろくさせていただきました。今年は人生とは何か?考えさせていただきました。来年もまた来て下さい。(30歳代 女性)

## スウェーデン放送合唱団

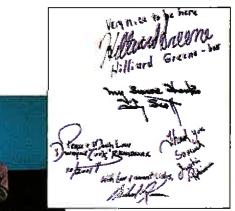


11/24 土  


●世界のトップクラスの演奏が聴けたことはとても幸運です。一流を知るということは地域のレベル向上にもつながるはず。ぜひこれからも一流的のものを聴かせてください。(30歳代 女性) ●アカペラが素晴らしかった。美しいハーモニーに感動!現代音楽の合唱を初めて聴いた。不思議な音、素晴らしいと思いました。(30歳代 女性)

## ジミー・スコットジャズライブ



10/18 木  


●聴いた事のある曲も全然違うように聴こえ、胸がドキドキするような曲もすばらしい曲でした。ありがとうございました。(20歳代 女性) ●初めて生のジャズを聴きました。ユーモアのある中に楽しい一時を過ごしました。とてもリラックスのできる曲で味が深かったです。(30歳代 女性) ●娘に誘われジャズ初体験でした。すばらしかったです。(40歳代 女性)

Event Report

# FLASH BACK

2001年10月～2002年3月

平成13年度後期自主事業(10月～3月まで)を、それぞれの催物に寄せられたアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。  
※サインは公演当日出演者からいただいたものです。

## 市民創作ミュージカル「弥次喜多道中夢枕」



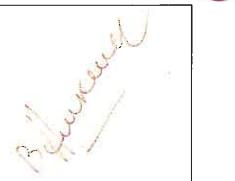
12/24・25 月・火

●市民で創り上げるミュージカルはとてもあたたかい味があってとても楽しめました。このような文化・芸術を地域で実感できる幸せはすばらしいものです。私達のルーツを知りたくなる公演でした。(20歳代 女性) ●全くの素人集団とは思えず、大感激の一日でした。(60歳代 女性) ●これからは市民参加が基本的なキーワードになっていくと思われますので、文化事業に限らず、すべての事業で実施していくことが重要ではないでしょうか。(40歳代 男性) ●富士市がうらやましく思います。文化をつくっていくのは、その地に住む人たち(住民)だとこの公演を観て強く思いました。(40歳代 教師)

## チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

指揮・ピアノ:ウラディーミル・アシュケナージ

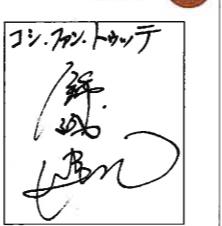


11/1 木  


●ヨーロッパに行かなくても口せでこんな素晴らしい演奏が聴けて良かった。すばらしい、さすが世界の天才ピアニスト!(40歳代 女性) ●ブラボーライブでは2度目のマーラーでしたね。(ハイバルのフランクフルト放響) アシュケナージのピアノは、絶品でした。(20歳代 男性) ●とても感動しました。音楽ってすばらしいです。私も楽器を演奏していますけど、同じ人間なのに、心を動かせる音楽をみんなで作ることができるってステキだと思います。(?)

## 錦織健プロデュースオペラ「コシ・ファン・トゥッテ」



3/5 火  
コシ・ファン・トゥッテ  


●久しぶりのオペラ観劇で舞台が大変かねでいて衣装も美しく、いつもの錦織健さんと違った一面を見せていただき大変良かったです。(60歳代 女性) ●ごじんまりとした公演だと思ったが、内容はなかなかボリュームがあって良かった。(60歳代 男性)

# ロゼ・ミュージカル劇場

平成六年の「お姫さまの出発」を皮切りに市民参加のイベントとして今年で、六回目。公演を自ら指すロゼシアター「市民ミュージカル」。出演者の演技力や演出の技術などにおいて回を重ねる度、高い評価を受けてきた市民ミュージカルの歩みを振り返ります。

開館五周年記念事業

## 新・曾我物語 「名残りの小袖」

平成十年十一月一日(日)  
十一月三日(火)

曾我物語といえば曾我の十郎 五郎の仇討ちの話として有名ですが、「新・曾我物語 名残りの小袖」ではむしろ曾我兄弟の母「満江御前」を軸に女の愛と男の義にスポットを当てました。



青少年サマーミュージカルスクール  
新説・竹取物語  
~THE TAKETORI STORY~

平成十二年八月四日(金)

誰でも知っている「かぐや姫」の物語。その「かぐや姫」は、実は宇宙人だった…。そしてなんと牛若丸に恋をしてしまうというまさに新説・竹取物語という題名にふさわしいユニークな発想のミュージカルです。



宇宙探索隊ネオアトラスの三人(グーザン=カジや姫・ガティ・ゲティ)が、宇宙の奇跡「愛する心」を探し求めて地球に辿り着く。かぐや姫たちは、

地球での出会いを通じて様々な体験をしていくという「愛が地球を救う」がテーマのミュージカル。

東海道四〇〇年祭参加事業  
弥次喜多道中夢枕

平成十三年十一月二十四日(月)  
十一月十五日(火)

昨年末に上演された市民ミュージカル。時は元禄文化華やかしき頃、主人公の「弥次朗」と柳沢長狭介弥次朗と「喜多次」こと近松門左衛門が間違いだらけの世直しのため、江戸から富士のお山を目指して旅に出る。



平成十四年二月二十七日(水)～三月一日(金)



宇宙探索隊ネオアトラスの三人(グーザン=カジや姫・ガティ・ゲティ)が、宇宙の奇跡「愛する心」を探し求めて地球に辿り着く。かぐや姫たちは、

地球での出会いを通じて様々な体験をしていくという「愛が地球を救う」がテーマのミュージカル。

## 『2002青少年サマーミュージカルスクール』参加者募集

### 募集要項

- 応募資格 / 富士市在住の小学校4年生～高校3年生(平成14年4月1日現在)演劇・ミュージカルに興味があり、全練習に参加できる方。
- 参加費 / 3,000円(開講式に受付までご持参ください。)
- 募集定員 / 50名程度(応募者多数の場合は先着順となります。)
- 練習会場 / リハーサル室・第1練習室・第2練習室・中ホール

### 応募方法

ロゼシアター1階、(財)富士市文化振興財団事務室、企画広報係備え付けの応募用紙に必要事項を記入の上、同様まで提出してください。

### 基礎練習・スクール日程

- 基礎練習 / 6月1日(土)開講式・2日(日)・8日(土)・9日(日)  
(午後10:00～16:00迄)  
15日(土)・22日(土)・23日(日)・30日(日)  
7月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)  
20日(土)・21日(日)
- スクール / 7月22日(月)～7月26日(金)  
(10:00～18:00) ※時間は変更になる場合があります。
- 発表 / 7月27日(土)中ホール 13:00・15:00

### 応募期間

5月19日(日)まで

### お問い合わせ

富士市文化会館ロゼシアター企画広報係 TEL.0545-60-2512

青少年サマーミュージカルスクール  
「ハローマイタウン」

平成十一年八月八日(日)

夏休みの宿題で、先生と一緒に自分たちの町の昔話や伝説を調べる事になった子供たち。

内容は「神様と天狗の山作り」「キツネの話」「猫のタマ」という三つの昔話で構成され、第四幕のフinaireでは、この富士市の素晴らしい景色を再発見した子供たちが夢と冒險を求めて全員が声高らかに「ハローマイタウン」を歌いました。



